

南あわじ市地域包括支援室

高齢者の総合相談窓口、認知症相談センター、認知症初期集中支援チーム（認知症の人や疑いのある人の自宅を訪問し、早期対応に向けた支援を行う。）

☎0799-43-5237

在宅介護支援センター

高齢者の介護に関する相談窓口。

・緑風在宅介護支援センター

☎0799-45-1718

・どんぐりの里在宅介護支援センター

☎0799-36-5630

・三原在宅介護支援センター 太陽の家

☎0799-43-3803

・三原在宅介護支援センター やすらぎ

☎0799-42-6006

・南淡在宅介護支援センター やすらぎ

☎0799-53-0030

ひょうご若年性認知症生活支援相談センター

65歳未満で発症した「若年性認知症」専門の相談窓口。

☎078-242-0601

高齢者等SOSネットワーク事業

関係機関と協力連携し、行方不明時に早期発見につなげる。事前登録者にはQRシール配布。（希望者のみ）

地域支え合い活動

地域の民生委員による見守り等。

認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族を見守り、支援するサポーターを養成。認知症に関する正しい知識や対

認知症の専門的な診断や専門医療相談を実施（予約制）。

・兵庫県立淡路医療センター（認知症疾患医療センター）もの忘れ外来

☎0799-22-1200

・南淡路病院 もの忘れ外来

☎0799-53-1553

・八木病院 物忘れ外来

☎0799-42-6188

いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しやしき百歳体操

身近な場所で、みんなで出来る介護予防の体操。

認知症を支える家族の会 スマイル

認知症の介護の悩みを話し合える場。

認知症カフェ・スマイル

認知症の人とその家族、地域の人誰もが集える場。

介護予防出前講座

高齢期の健康づくりの講座。

集いの場、ふれあい・いきいきサロン

茶話会・趣味・体操などの交流の場。

在宅高齢者等紙おむつ支給事業

【要件あり】

常時おむつを使用されている方に紙おむつを支給。

家族介護用品支給事業 【要件あり】

要介護4・5の方に介護用品を支給。

高齢者日常生活用具給付事業

【要件あり】

電磁調理器、火災警報器、自動消火器の購入費を補助。

「食」の自立支援事業 【要件あり】

栄養バランスの取れた食事を調理し、配達するとともに、安否を確認。

地域サポート施設

兵庫県が認定した地域サポート施設による食生活の支援、移動支援、見守り、介護者への支援の提供。

介護保険サービス

日常生活自立支援事業（南あわじ市社会福祉協議会）

安心して在宅生活を送れるよう介護保険など福祉サービスの利用手続きや日常生活の中での金銭や通帳の管理などを行う。

☎0799-44-3007

成年後見制度

判断能力に不安がある方の財産を保護する制度。預貯金や不動産などの財産管理等を行う。

住まい
グループホーム等、住まい・施設サービスの情報・相談

介護予防・通いの場・家族支援・生活支援

金銭管理等

住まい



南あわじ市 認知症ケアパス



認知症になっても 安心して暮らせる まちを目指して



こちらも参考にしてください



南あわじ市地域包括支援センター ☎0799-43-5237



南あわじ市



広域版

問合せ先：南あわじ市地域包括支援室 ☎0799-43-5237

〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1



南あわじ市地域包括支援室

令和5年9月版



認知症の経過と対応の流れ



	認知症の疑い(発症前)	認知症はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ◇日付・曜日の間違いが増える ◇探し物が多くなる ◇たまにガスの消し忘れがある ◇仕事の失敗が増える ◇もの忘れが増えてきた自覚がある ◇趣味や楽しみがあり、外出する習慣もある 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ミスが目立ち始める ◇何度も同じ行動がある ◇日時の約束をたびたび忘れる ◇薬の飲み忘れが目立ち始める ◇イライラして怒りっぽくなる ◇おっくうになる、何もしなくなる ◇わからなくても話を上手に合わせる 	<ul style="list-style-type: none"> ◇金銭管理が難しくなる ◇着替えの順番がわからなくなる ◇料理の手順がわからず作れなくなったり、味付けが難しくなる ◇電気製品の操作にまよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◇季節に合わせた服を選ぶのが難しい ◇たびたび道に迷う ◇昼夜が逆転した生活になる ◇ひとりで買い物ができない ◇親しい人や家族の顔がわからなくなる ◇妄想が多くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ◇食事・入浴・トイレなど介助が必要 ◇言葉がうまく出なくなることがある ◇話を理解しにくい ◇物事への関心が少なくなる ◇本人からの訴えは少なくなるが「気持ちいい」「おいしい」はいつまでも残る
対応のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◎かかりつけ医に相談しましょう(発症を遅らせたり、進行を緩やかにすることができます) ◎心配な出来事をメモにまとめて受診するのがおすすめです ◎人と交流する機会を増やすことで、気にかけてくれる人が増えます 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運転免許証の返納を検討しましょう ◎日光を取り込んで昼夜の区別をつけるようにしましょう ◎物(貴重品)の置き場所を決めましょう ◎失敗や間違いを否定しないようにしましょう ◎話を聞くように心がけましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◎介護保険サービスなどを活用しましょう ◎民生委員や近所の人に伝え、周囲の見守り協力を得て、支えてもらう関係づくりをしましょう ◎得意なことは本人に任せ、苦手なことを手助けし、本人が傷つかないようにしましょう ◎必要時、成年後見制度を活用しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◎外出する時には名前・連絡先が分かるものを身につけておくと安心です ◎介護者は一人で抱え込まないようにしましょう ◎自宅か施設等か、生活の場について本人と家族で話し合っておきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◎表情やしぐさでメッセージを発していることもあります ◎会話ができなくても話しかけましょう ◎手を握るなどスキンシップで安心感を与えてあげましょう ◎介護する家族の健康や生活を大切にしましょう

相談	地域包括支援室、在宅介護支援センター、ひょうご若年性認知症生活相談センター
介護予防集いの場 家族支援生活支援	いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操、介護予防出前講座、集いの場、ふれあい・いきいきサロン、認知症を支える家族の会スマイル、認知症カフェ
	地域サポート施設
	「食」の自立支援事業、高齢者日常生活用具給付等事業
	在宅高齢者等紙おむつ支給事業、家族介護用品支給事業
見守り	認知症サポーター養成講座、地域支え合い活動(民生委員)、高齢者等SOSネットワーク事業
医療	かかりつけ医、認知症サポート医、認知症疾患医療センター、かかりつけ歯科医、調剤薬局
金銭管理	日常生活自立支援事業
	成年後見制度
住まい	グループホーム等の住まい・施設サービスの情報・相談